



東日本大震災6周年シンポジウム（2017.3.12）

# 東北地方整備局との連携による人材育成 ～3.11からの学び塾～



災害科学国際研究所  
情報管理・社会連携部門／災害復興実践学分野  
防災教育国際協働センター

佐藤 健

# 開催概要

---

- 研修目的

東日本大震災発生当時の緊急対応の最前線における実体験を中心に、震災対応の教訓を改めて学び直すとともに、市町村の災害危機管理、インフラ・ライフライン系企業などに必要な活動遂行能力の向上を図る。

- 研修対象者

宮城県内市町村の防災関連担当職員（所属部局問わない）、インフラ・ライフライン等の企業の防災担当職員

- 主催：東北大学災害科学国際研究所・国土交通省東北地方整備局

- 開催日：平成28年12月19日（月）～20日（火）

- 会場：東北大学災害科学国際研究所（2階演習室A）

- 講師

東北大学災害科学国際研究所、国土交通省東北地方整備局、宮城県、仙台市、宮城教育大学が担当

# 研修の特徴

---

- 市町村が行う災害危機管理に関する活動項目の部局横断型の研修
- 災害サイクルや地域防災計画の各フェイズに応じたカリキュラムを編成
- 講義だけでなく、演習やワークショップ、ディスカッションも実施
- 災害科学国際研究所の防災教育国際協働センターが事務局を担当

## 災害 予防

- ①地域防災計画・災害ロジスティックス
- ②災害法制・事業継続計画

## 緊急 対応

- ①公共施設管理
- ②保健・医療・福祉
- ③教育・学校・避難所

## 復旧 復興

- ①仮設住宅・サポートセンター・復興住宅
- ②復興まちづくり

# 講義から演習までの流れ～復旧復興の単元を例に～



## 講義①「仮設住宅・復興住宅」(60分)

講師：小野田泰明（災害科学国際研究所（兼務））



## 講義②「東日本大震災からの復興まちづくり」(60分)

講師：鈴木武彦（東北地方整備局建政部）



## 復旧復興総合演習「復興まちづくりは応急仮設住宅から始まる」(60分)

講師：岩田 司・平野勝也（災害科学国際研究所）

- グループ編成・課題説明
- グループワーク
- 講評

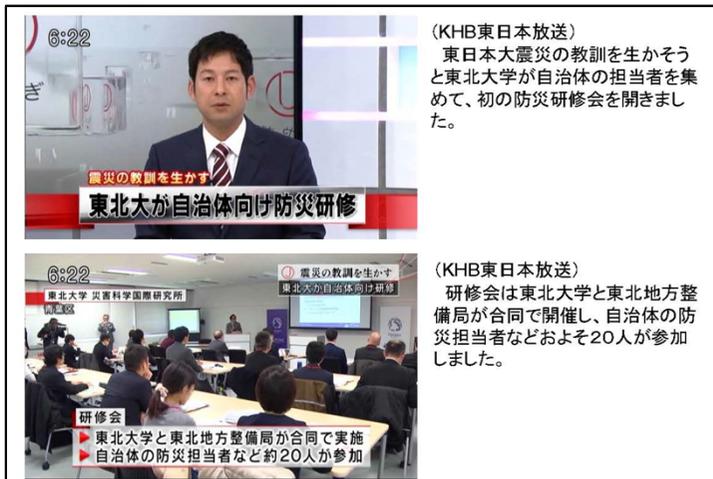
課題のねらい：復旧・復興の第一歩である応急仮設住宅の建設は様残な制約条件のもとで急ぎ設定される。しかし、その建設のあり方は、その後の復旧・復興に対して少なくない影響をもたらす。その後の復興まちづくりや仮設住宅の運営などへの影響を適切に想像し、緊急の意思決定を行う能力を実践的に高める。

# 研修会会場のようす



# まとめ

- 受講者：宮城県内の7市町（12部局）、東北電力、NTT東日本宮城事業部から2日間で延べ44名。講師：2日間で延べ18名。
- 受講者からの「3.11からの学び塾」の意義と一定の評価
- 課題の改善検討
- 防災教育・人材育成研究ユニットとして継続開催を推進



東日本放送 平成28年12月19日（月）18:22～18:23

